

関節リウマチのメソトレキサート使用率

目的

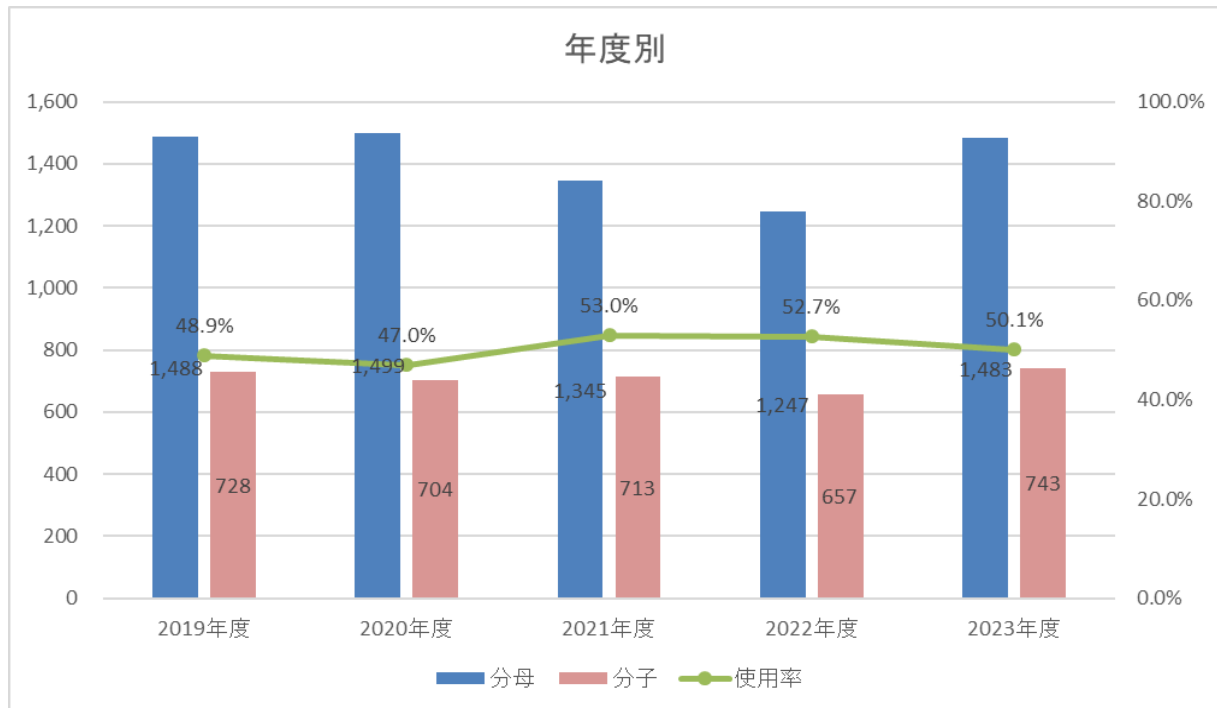
臨床指標、学会の指標の比較

分母

対象期間中に、リウマチ内科で関節リウマチ(ICDCODE "M06*")が外来病名の主病名として登録がされている患者で、期間内に2回以上、リウマチ内科に受診している患者数

分子

分母の条件を満たしている患者様で以下のいずれかの薬が対象期間に外来で処方されている患者



データ抽出内容

抽出対象期間に、IR(IG)科で関節リウマチが外来病名の主病名として有効になっている患者さんを抽出し、その有効になっている期間内でIR(IG)科を2回以上受診している患者さんを抽出する。

例1: 抽出対象期間 2010/4/1～2011/3/31
病名有効期間 2011/5/1～Null
→2011/5/1～2011/3/31間でIR(IG)科を2回以上受診していればカウントする。

例2: 抽出対象期間 2010/4/1～2011/3/31
病名有効期間 2007/4/1～2011/2/1
→2010/4/1～2011/2/1間でIR(IG)科を2回以上受診していればカウントする

2016.06.04 リプレイスに伴う条件変更について

今まで病名区分が「入院・外来」のみでしたが「入院・外来・入外」と追加になりました。
今回は「外来」で登録されている病名で抽出作業実施しております。

データ分析コメント

メソトレキサート(MTX)は関節リウマチ(RA)治療の基本薬であり、単独あるいは他の抗リウマチ薬や生物学的製剤と併用して使用されます。海外や本邦のガイドラインにおいて、RAと診断され、活動性が高く予後不良と考えられる症例は、MTXで治療を開始することが推奨されています。MTXの使用率は2006年まで年々増加していましたが、その後、生物学的製剤やバイオシミラー製剤、JAK阻害薬などの使用経験が増え、それらの薬剤の単独使用率の上昇により、MTXの使用率は2019年以降50%前後で推移しています。これは、RA治療の最新のガイドラインを踏まえた治療戦略が浸透している結果と考えられます。